



「四季」と「四大元素」の肖像画は4つの部分から構成されている。表情豊かな横顔、冠を戴いた頭部、大きな襟、そして球状のモチーフでおおわれたトルソ部分である。これらの構成要素は宮廷の象徴と関連している。統治者、王冠、名誉を表す鎖、そして笏のイメージである。それぞれの季節には独自の自然の要素が備わっている。たとえば、「春」(P83,179,199)はアイリスなどの花、「夏」(P89,163,203)はアーティチョークなどの野菜、「秋」(P45,167,173)はバラなどの花、「冬」(P95,171,185,209)はレモンなどの果物。

### 「春」(細部2)

1563年

木板に油彩、66 x 50 cm

マドリード 王立サン・フェルナンド美術アカデミー